いつもんコーナー

ファミサポにお問い合わせいただく内容で、よくある質問をご紹介します。

Q 子どもを預かっていただく場所は援助会員さんのお宅のみでしょうか？

A 双方の会員さんで合意があれば、援助会員の自宅以外の場所でも預かり可能です。依頼会員さんの自宅、子育て支援センター（なかよし、びらふ）、情報交流館、公園、子育て広場たんぽっぽ、図書館といった公共の場所などで一緒に過ごしていただけます。

Q ペアの方と慣らし保育的なことはできますか？

A お子さんと援助会員さんとの雰囲気やお互いの留意点をサポートが本格的必要な状態になる前に確認しておけると安心ですよね。もし依頼会員さんが初めてのサポート利用であれば初回最大3時間無料の助成制度があります。
詳細はセンターまでお問い合わせください。

対象の方は【助成金制度】でサポート利用料を軽減することができます

児童扶養手当受給世帯、市民税非課税世帯、生活保護受給世帯はサポート利用料が半額になる助成制度があります。詳しくはセンターにお問い合わせください。

また、企業団体の福利厚生でもファミサポ利用料の助成を受けられる場合があります。そちらの詳細手続き等については当センターの管轄外となりますので、お勤め先にご確認をお願い致します。

活動情報

2023年度
（2023年4月～2023年6月）

依頼会員　55名
（土佐山田町45名、香北町9名、物部町1名）

援助会員　36名
（土佐山田町22名、香北町11名、物部町3名）

両方会員　12名
（土佐山田町8名、香北町4名）

ペア数　84組
活動回数　78回

編集後記

●援助会員講習会は、子育てや子どもに関わる人ならどなたにでも心に響く内容が充実した講座の数々となっています。毎回講師のファンができる講座もあるほどです！たくさんの方にお届けできるように次回一月開催から「ファミサポ子育て講習会」へ名称を変更します。（にしむら）

●かみーるの「つながるーむ」は声が心地よく響く会場なので、読み聞かせの醍醐味、「声を聞く気持ちよさ」を堪能できたのではないでしょうか。かみーるいいですねぇ。（ひだか）

●私は援助会員講習会1期生でしたが、スタッフとして勤務するにあたり全教科を再受講しました。自身の子育てのステージも、講座の内容も変わり、また新しい学びとなりました。（はらだ）

▶ご意見ご感想お待ちています。「ファミサポつーしん」次号は1月発行予定です。

発行＝香美市ファミリー・サポート・センター
事業委託運営者＝NPO法人いなかみ
ファミサポ専用TEL 080-5665-2075
8:30～17:15 水・日・祝休み
高知県香美市土佐山田町本村214（香美市立移住住交流センター内）
E-mail:famisapo@inakami.com
TEL&FAX:0887-52-8606
https://famisapo.inakami.com 香美市 ファミサポ 検索

運営団体について

香美市ファミリーサポートセンターを運営している「NPO法人いなかみ」は、法人設立の2015年の夏より香美市の移住促進事業に取り組んできました。その中で、近くに親族のいない移住者が働きながら子育てすることの負担や不安はとても大きいことを実感し、誰もが安心して子育てできる環境づくりが必要だと強く感じるようになりました。こうした背景から2018年に香美市の業務委託を受け、「香美市ファミリー・サポート・センター」がスタートしました。皆さんのお力を貸して頂きながら、地域で支え合う子育て環境をつくっていきたいと考えています!

※中面にイベント予定あります

つなぐ・支える・地域の子育て

香美市 ファミサポつーしん

第17号
2023年8月発行

香美市ファミリー・サポート・センターは、地域で子育てを助け合う会員相互の育児支援をサポートします。

開催しました！「絵本の読み聞かせと選びかた」講座 @かみ～る（香美市立図書館）

6月27日(火) 援助会員講習会の1科目として「絵本の読み聞かせと選びかた」講座を開催しました。土佐町読書推進コーディネーターの古川佳代子さんを講師に迎え、１３名の参加がありました。古川さんの「子どもは本をただ読んでもらうのではなく、大好きな人の声や体温を感じたいと思っている」や「心地よく柔らかい肉声を聞かせられるのが絵本」などの言葉に、受講者の皆さんは絵本や読み聞かせへの想いを新たにしたようでした。

講師の古川さん

テーブルにたくさん並んだ古川さんのオススメ絵本。
講座終了後に受講生の皆さんが気になる本をそれぞれ借りていかれて、テーブルはすっからかんに！
講座資料にはオススメ絵本のリストもあり、好評でした♪

ご感想紹介

- 今、孫に絵本の読み聞かせをしています。今日お話を聞いて読み聞かせ出来る喜びを再認識しました。
- 読み聞かせは、人と向き合うコミニケーションの一つだと分かりました。自分の子どもにも続けていきたいです。

当日は高知新聞の取材を受けて、7/1付朝刊に講座の様子の記事が掲載されました。

第11回援助会員講習会では９つの講座を実施、新たに3名の方が援助会員として登録されました。

お子さんと触れ合う実習

センターでの座学の様子

【アンケートより】

- 大人が素顔の表情を見せて子どもと関わることが心身の発達にとても大切であることを学びました。
- ジュースやお菓子の人工甘味料などの添加物は小さい子どもには特に注意が必要なことがわかりました。

ファミサポヒト・コト

暦のうえでは秋ですが、まだまだ残暑きびしい今日この頃、みなさんいかがお過ごしでしょうか？
子どもの頃の夏の体験は大人になってもずっと心に残るものが多いように思います。子どもたちのウキウキやワクワクに私たち大人も同じ目線で一緒に楽しむことを大切にしていきたいですね。

香美市ファミリー・サポート・センター